

# 直江津空襲を忘れてはならない

直江津空襲から69年目の5月5日、黒井公園で犠牲者を追悼し、平和を求める集会在、4年ぶりに開かれました。集会では、杉みき子さんや地元の人などが体験や平和の思いを語りました。

## 4年ぶりに平和集会



直江津空襲は1945年5月5日でした。午前11時15分に米軍機が黒井周辺に50キロ爆弾を7個投下し、死者3人、重軽傷者4名を出しました。

会長の関川幹雄さんは、「畑で仕事の人が爆弾で粉々になった。悔しかったと思う。長岡の花火も空襲で亡くなった人の慰霊だ。ここには花火も鯉のぼりもないが爆弾投下があったと

いうことを思い起こし、慰霊していただきたい」と挨拶しました。

全員で黙とうした後、児童文学者の杉みき子さんが、戦争時代の体験と平和への思い(別掲参照)を語りました。また、地元の笠原文人さんも「空襲があった時は直江津ステレンスに勤めていた。爆弾落としたとは聞いたが、会社では話はしなかった。戦争というのは秘密が多すぎる」とのべていました。私からも東京大空襲で伯母が亡くなった話をさせてもらいました。



【フデリンドウ】漢字で「筆竜胆」と書きます。リンドウ科の越年草。高さは10センチほど、小さな薄紫色の花を咲かせます。2日に大島区にて撮影しました。



### 安倍内閣の暴走にストップを

5月1日、メーデー上越地区集会で私は日本共産党を代表して挨拶。安倍内閣の消費税の大増税、医療・社会保障制度や労働法制の改悪、原発推進などの暴走にストップをかけるため、力を合わせようと訴えました。

高田高等女学校二年生の三学期に工場動員で、いまの高田公民館のところにあつたカワバタ(?)製作所で働くことになった。八月まで休みなしで、朝の八時から夕方五時半まで働いた。一番つらかったのは、空襲で夜眠れないことだった。寝たと思うと起こされて、防

う、あんな思いをしないですむんだな、どうれしかった。この気持ちには、平和を守るためにはなんでもなかっつちやと決意した。戦争の中で育ち、平和のありがたさを知って、どこまでも平和を守らなければならぬという気持ちはずっと続いている。この気持ち、持ち続けていきたい。

(杉みき子さんのお話の要旨)

## どこまでも平和を守り続けていきたい

空壕に入った。

アメリカとの戦争が始まった時のことは憶えていない。もうひとつ相手が増えたって大したことかなかろうと思っていた。ふわふわと日本万歳という思いで過ごしていた。

そのうちに、だんだん戦火が拡大していき、昭和二〇年の二月、

直江津の空襲のときも工場にいた。昼間、空襲警報が鳴った。でもそのときは損害は軽微で、亡くなった人はいない。戦争をしながらも、戦争が終わって、こういう運動が始まって初めて、ここで空襲が

数日後、電灯がついて、いままでも真暗だったのが、パッと明るくなった時だった。これから明るい中で過ごせる。これで戦争をしなくていいんだなと思ひ、うれしかった。



# はしづめ法一の活動レポート

No.1656 2014.5.11  
 発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず  
 Tel 025-548-3628 吉川有線 4867  
 通じないときは 090-5392-1961  
 E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp  
 URL http://www.hose1.jp/

ブログ「ホーセの見てある記」はこちら  
  
 橋爪法一 検索



四月から五月にかけての連休、帰省客のある家ではどこでもいつもとは違った雰囲気が生まれるのではないだろうか。わが家はそうなりません。

今年の連休の後半、金沢市で仕事をしている次男夫婦が帰ってきました。帰省した日はちょうど日曜日、母のデイサービスの日です。いうまでもなく母はいませんでした。早く家に着いた次男夫婦が初めて母を迎えるかたちとなりました。

午後四時少し前、デイサービスの送迎車が到着し、母が下車。スタッフの人に、「おばあちゃん、ウドの皮むきすると手が黒くなるよ」と言われるなか、歩きはじめました。次男の車が玄関前に置いてあるのが目に入り、母の気持ちはもう次男の方に向いてしまっています。

母は居間に入るとすぐに、「顔、見るが楽しみにしていたがど」とうれしそうに顔をしながら次男に声をかけました。次男は次男で、デイサービスに通い始めた母の様子が気になっていたようです。「大丈夫かね」とでも声をかけたのでしょうか、母がすぐに話しました。

「体、どこも痛くねし、山菜採りにも行かれる。畑にも行かれる。おれは普通に食べられるし、毎日、何を食べるかばっか考えているがど」

次男がそれを聞いて、今度はデイサービスの様子を尋ねます。「ばあちゃん、いい男いたかね」との質問に、母は直接答えず、フフフと笑いながら、その日、デイサービスであったことを次々と語り続けました。

「あこへ行くと『ばあちゃんの体操』するがど。足、動かしたり、手、動かししたり、顔、動かししたり、へらもあっちこっちと動かすがど。風呂にも入ってもらったし……。昼には、ごつつおあつたわ。でつけ入れもんの中に、卵に、キノコも入っていた。肉もあつたし、ホウレンソウも豆腐も入っていた」

頭の中に一つひとつ浮かんでくるので、それを拾って言葉にする、そんな感じで話してくれました。

次男夫婦が帰省することを聞いていた母は、デイサービスへ行く前に迎える準備をしていました。そうです、次男夫婦に食べてもらいたい食べ物料理です。

デイサービスの話が一区切りしたところで、母は立って台所へ行きました。そしてまず持ってきたのが「ウドのさんばい」です。ウドには赤みがあつて、しかもでかい。一五センチほどの長さに切られていました。「うわー、すごい」という声に伝えて、母は、「五倍酢、ちよつとたらして、それから普通の酢に漬ける、そうすると赤くなるがど」と得意げに説明していました。

母はウドに続いて、ワラビも持ってきました。これも一五センチはあるでしょう、この長さにみんながびっくりしました。ワラビはアク抜きした後、ほどよくゆでるのがコツです。ちよつどいい柔らかさでした。さらにタケノコ、自家製のコンニャクを一つひとつ持ってきました。

母が台所と居間を行き来している間に、次男の連れ合いが茶道具入れから飯台の上に湯呑み茶碗を出しはじめました。湯呑みは白く、サクラの小さな花びらがいくつか描かれています。湯呑みを一個一個ゆっくり出す、その丁寧さに感心しました。

出された湯呑みは二列に並べられました。いつもは四、五個なのにこの日は七個です。七個の湯呑みを見ていたら、何となくうれしくなりました。

## 少子化対策の強化などの要望も

5月5日、吉川区原之町で、「議会報告と山菜料理を楽しむ会」を行いました。

第1部の議会報告では、日本共産党議員団のメンバー全員が分担し

て約30分間にわたり議会報告をしま

した。上野公悦議員は消費税増税と予算、平良木哲也議員は公の施設の再配置と福祉の切り捨て、私はガス水道局所管の入札談合疑惑と総合事務所産業建設グループの集約の問題についてのべ、日本共産党の考えを示しました。

第2部は山菜料理を食べて交流する会です。ウドやワラビ、トリアシ、タケノコなどの料理を堪能しました。参加者と交流するなかで、少子化対策の強化などいくつか要望されました。会の後半では柿



崎区の仙田幸造さんが時局漫談で沸かせました。また、女性後援会有志の方々が「はしづめ法一を励ますパフォーマンス」をしてくださいました。写真は仙田さんが政治漫談をやっているところです。

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果（測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常の範囲は1時間当たり0.016~0.16μSv（マイクロシーベルト）だということです。

	4月30日(水)	5月7日(水)
上越南消防署	0.040	0.036
上越北消防署	0.057	0.040
新井消防署	0.053	0.050
頸北消防署	0.046	0.053
頸南消防署	0.040	0.050
東頸消防署	0.056	0.043
高士分遣所	0.050	0.047
名立分遣所	0.053	0.050



5月1日の上越地区メーデー集会で使用されたプラカードのひとつに私の似顔絵が描かれていました。さあ、どれだかわかりますか。



四月から五月にかけての連休、帰省客のある家ではどこでもいつもとは違った雰囲気が生まれるのではないだろうか。わが家はそうなりません。

今年の連休の後半、金沢市で仕事をしている次男夫婦が帰ってきました。帰省した日はちょうど日曜日、母のデイサービスの日です。いうまでもなく母はいませんでした。早く家に着いた次男夫婦が初めて母を迎えるかたちとなりました。

午後四時少し前、デイサービスの送迎車が到着し、母が下車。スタッフの人に、「おばあちゃん、ウドの皮むきすると手が黒くなるよ」と言われるなか、歩きはじめました。次男の車が玄関前に置いてあるのが目に入り、母の気持ちちはもう次男の方に向いてしまっています。

母は居間に入るとすぐに、「顔、見るが楽しみにしていたがど」とうれしそうに顔を向けて次男に声をかけました。次男は次男で、デイサービスに通信始めた母の様子が気になっていたようです。「大丈夫かね」とでも声をかけたのでしょうか、母がすぐに話しました。

「体、どこも痛くねし、山菜採りにも行かれる。畑にも行かれる。おれは普通に食べられるし、毎日、何を食べるかばっか考えているがど」

次男がそれを聞いて、今度はデイサービスの様子を尋ねます。「ばあちゃん、いい男いたかね」との質問に、母は直接答えず、フフフと笑いながら、その日、デイサービスであったことを次々と語り続けました。

「あこへ行くと『ばあちゃんの体操』するがど。足、動かししたり、手、動かししたり、顔、動かししたり、へらもあっちこっちと動かすがど。風呂にも入ってもらったし……。昼には、ごつつおあつたわ。でつけ入れもんの中に、卵に、キノコも入っていた。肉もあつたし、ホウレンソウも豆腐も入っていた」

頭の中に一つひとつ浮かんでくるので、それを拾って言葉にする、そんな感じで話してくれました。

次男夫婦が帰省することを聞いていた母は、デイサービスへ行く前に迎える準備をしていました。そうです、次男夫婦に食べてもらいたい食べ物料理です。

デイサービスの話が一区切りしたところで、母は立って台所へ行きました。そしてまず持ってきたのが「ウドのさんばい」です。ウドには赤みがあつて、しかもでかい。一五センチほどの長さに切られていました。「うわー、すごい」という声に伝えて、母は、「五倍酢、ちよつとたらして、それから普通の酢に漬ける、そうすると赤くなるがど」と得意げに説明していました。

母はウドに続いて、ワラビも持ってきました。これも一五センチはあるでしょう、この長さにみんながびっくりしました。ワラビはアク抜きした後、ほどよくゆでるのがコツです。ちよつどいい柔らかさでした。さらにタケノコ、自家製のコンニャクを一つひとつ持ってきました。

母が台所と居間を行き来している間に、次男の連れ合いが茶道具入れから飯台の上に湯呑み茶碗を出しはじめました。湯呑みは白く、サクラの小さな花びらがいくつか描かれています。湯呑みを一個一個ゆっくり出す、その丁寧さに感心しました。

出された湯呑みは二列に並べられました。いつもは四、五個なのにこの日は七個です。七個の湯呑みを見ていたら、何となくうれしくなりました。

## 少子化対策の強化などの要望も

5月5日、吉川区原之町で、「議会報告と山菜料理を楽しむ会」を行いました。

第1部の議会報告では、日本共産党議員団のメンバー全員が分担し

て約30分間にわたり議会報告をしま

した。上野公悦議員は消費税増税と予算、平良木哲也議員は公の施設の再配置と福祉の切り捨て、私はガス水道局所管の入札談合疑惑と総合事務所産業建設グループの集約の問題についてのべ、日本共産党の考えを示しました。

第2部は山菜料理を食べて交流する会です。ウドやワラビ、トリアシ、タケノコなどの料理を堪能しました。参加者と交流するなかで、少子化対策の強化などいくつか要望されました。会の後半では柿



崎区の仙田幸造さんが時局漫談で沸かせました。また、女性後援会有志の方々が「はしづめ法一を励ますパフォーマンス」をしてくださいました。写真は仙田さんが政治漫談をやっているところです。

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果（測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常の範囲は1時間当たり0.016~0.16μSv（マイクロシーベルト）だということです。

	4月30日(水)	5月7日(水)
上越南消防署	0.040	0.036
上越北消防署	0.057	0.040
新井消防署	0.053	0.050
頸北消防署	0.046	0.053
頸南消防署	0.040	0.050
東頸消防署	0.056	0.043
高士分遣所	0.050	0.047
名立分遣所	0.053	0.050



5月4日の大島区旭の新緑祭の様子。私も初めて参加させてもらいました。板山、角間などの出身者の方から声をかけていただき感激でした。